

平成27年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成27年8月13日
東

上場会社名 株式会社リアルワールド 上場取引所
 コード番号 3691 URL <http://realworld.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 菊池 誠晃
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営本部長 (氏名) 東本 和人 (TEL) 03-5114-3580
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年9月期第3四半期の連結業績 (平成26年10月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年9月期第3四半期	2,604	27.5	62	△57.7	57	△60.4	△5	—
26年9月期第3四半期	2,041	—	147	—	146	—	80	—

(注) 包括利益 27年9月期第3四半期 7百万円(△90.8%) 26年9月期第3四半期 80百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年9月期第3四半期	△2.09	—
26年9月期第3四半期	33.08	—

- (注) 1 当社グループは、第3四半期の業績開示を平成26年9月期第3四半期から行っているため、平成26年9月期第3四半期の対前年同四半期増減率の記載はしていません。
 2 平成26年9月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、新株予約権の残高がありますが、前連結会計年度は、当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載していません。
 3 平成27年9月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年9月期第3四半期	3,275	1,207	34.6
26年9月期	2,088	1,130	54.1

(参考) 自己資本 27年9月期第3四半期 1,132百万円 26年9月期 1,130百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年9月期	—	0.00	—	—	—
27年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年9月期の連結業績予想 (平成26年10月1日～平成27年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,000	44.6	300	52.7	300	53.3	150	35.5	55.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社(社名) 株式会社マークアイ、除外 1社(社名) —

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年9月期3Q	2,713,300株	26年9月期	2,704,400株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

27年9月期3Q	—株	26年9月期	—株
----------	----	--------	----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年9月期3Q	2,706,663株	26年9月期3Q	2,434,000株
----------	------------	----------	------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。

なお、当第3四半期決算短信の開示時点において、当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結財務諸表に関する監査法人のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予測値及び将来の見通しに関する記述・言明は、当社グループが現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営や内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、当社は将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日現在において当社グループが判断したものであります。

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や金融政策の推進により、円安・株高傾向が続き、国内景気は緩やかな回復基調をもって推移しております。設備投資の増加や雇用環境の改善も手伝って、消費税率引き上げ後の個人消費の落ち込みからも、持ち直しの傾向が見られるまでになりました。

そのような中、当社を取り巻く環境といたしましては、クラウドソーシング市場においては、昨今社会的認知度が飛躍的に上がってきており、労働人口の減少への対策の1つとして、政府の重要なICT施策の1項目としても挙げられております。市場規模は、平成27年には約600億円、平成30年には約1,750億円を超えるという予測も発表されました(榊矢野経済研究所)。当社はこの成長市場において、引き続き提携戦略を推進し、当社の「CROWD」における業務領域を拡大しながら、マイクロタスク型クラウドソーシングを用いた新しい働き方の提案に努めてまいります。

加えて、前期同様、インターネット上のポイントの認知も進んでいると考えております。国内におけるポイント・マイルの年間発行額の推移は、平成27年においては、9,204億円相当であり、平成30年には1兆円規模にまで成長するものと予測されております(榊野村総合研究所)。

また、当第3四半期連結累計期間において当社は、知的財産権に関わる事業を展開する、株式会社マークアイ(以下「マークアイ」)を子会社化し、クラウド事業の領域を拡大致しました。マークアイの事業ドメインである知的財産権管理の周辺分野においては、機密性の観点から労働集約的な業務が多数存在しております。ここに蓄積されているマークアイのノウハウと、当社のクラウドソーシングの技術とリソースをかけあわせて、新規市場へ開拓を進めております。当第3四半期会計期間においては、マークアイにて、当社のクラウドソーシングを活用した新規サービス「ブランド/ネーミング印象調査」を開始いたしました。

当社グループはこのような事業環境のもと、クラウド事業及びポイントエクスチェンジ事業を中心として事業を展開しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,604,073千円(前年同四半期27.5%増)、営業利益は62,555千円(同57.7%減)、経常利益は57,784千円(同60.4%減)、四半期純損失は5,651千円(前年同四半期は四半期純利益80,512千円)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

a. クラウド事業

当第3四半期連結累計期間においては、クラウドソーシングサービスをメインに、既存・新規を問わない積極的な営業を重ね、受注額・件数を増加させております。また、将来的に拡大していく受注に対応し得る生産力を確保していくための先行投資も継続して行っております。この結果、売上高は2,579,779千円(前年同四半期28.2%増)、セグメント利益は451,467千円(同16.9%増)となりました。

b. ポイントエクスチェンジ事業

当第3四半期連結累計期間においては、ユーザーによる活発なポイント利用を促すため、一部交換手数料を無料にする等の施策を行っております。

この結果、売上高は24,293千円(前年同四半期18.2%減)、セグメント利益は20,952千円(同32.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結累計会計期間における資産、負債及び純資産の状況とそれらの要因は次のとおりです。

資産、負債及び純資産の状況

流動資産は、前連結会計年度末に比べて、141,059千円増加し、2,111,741千円となりました。これは主として、株式会社マークアイ（以下「マークアイ」）を連結したことに伴う資産の増加によるものであります。そうした要因により、仕掛品が73,727千円増加しております。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて、1,038,654千円増加し、1,156,143千円となりました。これは主として、マークアイを連結したことに伴う資産の増加、及び本社の移転に伴うものであります。そうした要因により、のれんが465,902千円、敷金及び保証金が145,141千円、及び建物附属設備等の有形固定資産が193,921千円増加しております。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて、1,187,119千円増加し、3,275,291千円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて、619,804千円増加し、1,564,961千円となりました。これは主として、マークアイを連結したことに伴う負債の増加、及び借入金・社債による資金調達を行ったものであります。そうした要因により、買掛金が167,150千円、借入金・社債が378,231千円増加しております。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて、490,467千円増加し、503,223千円となりました。これは主として、マークアイを連結したことに伴う負債の増加、及び借入金・社債による資金調達を行ったものであります。そうした要因により、長期借入金が172,308千円、社債が261,200千円増加しております。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて、76,847千円増加し、1,207,106千円となりました。これは主として、マークアイを連結したことに伴う純資産の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年2月13日に公表した連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より新たに株式を取得した、株式会社マークアイを連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,224,755	960,332
売掛金	500,167	675,302
仕掛品	—	73,727
貯蔵品	14,343	31,042
繰延税金資産	153,333	170,867
その他	79,595	202,280
貸倒引当金	△1,514	△1,812
流動資産合計	1,970,682	2,111,741
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	6,893	132,405
その他（純額）	4,321	72,731
有形固定資産合計	11,215	205,137
無形固定資産		
のれん	23,510	489,412
ソフトウェア	3,139	124,695
その他	528	38,230
無形固定資産合計	27,177	652,337
投資その他の資産		
投資有価証券	1,000	63,390
敷金及び保証金	69,149	214,291
繰延税金資産	8,421	802
その他	7,452	27,323
貸倒引当金	△6,927	△7,139
投資その他の資産合計	79,096	298,668
固定資産合計	117,489	1,156,143
繰延資産		
社債発行費	—	7,405
繰延資産合計	—	7,405
資産合計	2,088,171	3,275,291

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	60,131	227,281
短期借入金	200,000	450,000
1年内返済予定の長期借入金	—	60,431
1年内償還予定の社債	20,000	87,800
未払金	103,620	131,871
未払法人税等	24,515	25,249
未払消費税等	66,296	33,625
ポイント引当金	415,401	393,850
その他の引当金	—	10,885
その他	55,191	143,965
流動負債合計	945,157	1,564,961
固定負債		
長期借入金	—	172,308
社債	10,000	271,200
繰延税金負債	—	2,122
その他	2,755	57,592
固定負債合計	12,755	503,223
負債合計	957,912	2,068,184
純資産の部		
株主資本		
資本金	411,162	415,167
資本剰余金	403,220	407,225
利益剰余金	313,364	307,712
株主資本合計	1,127,747	1,130,105
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	2,341	2,143
その他の包括利益累計額合計	2,341	2,143
少数株主持分	169	74,856
純資産合計	1,130,259	1,207,106
負債純資産合計	2,088,171	3,275,291

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年6月30日)
売上高	2,041,931	2,604,073
売上原価	1,144,727	1,386,737
売上総利益	897,204	1,217,335
販売費及び一般管理費	749,281	1,154,779
営業利益	147,922	62,555
営業外収益		
受取利息	42	100
受取手数料	395	—
差入保証金回収益	—	105
為替差益	—	862
その他	29	381
営業外収益合計	467	1,448
営業外費用		
支払利息	971	4,489
為替差損	224	—
支払保証料	164	506
社債発行費	—	1,021
上場関連費用	891	180
その他	54	21
営業外費用合計	2,307	6,219
経常利益	146,082	57,784
特別損失		
本社移転費用	—	3,235
リース解約損	—	1,488
固定資産除却損	—	1,742
特別損失合計	—	6,466
税金等調整前四半期純利益	146,082	51,318
法人税、住民税及び事業税	29,763	40,956
法人税等調整額	37,100	2,983
法人税等合計	66,863	43,939
少数株主損益調整前四半期純利益	79,218	7,378
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△1,293	13,030
四半期純利益又は四半期純損失(△)	80,512	△5,651

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	79,218	7,378
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	830	△191
その他の包括利益合計	830	△191
四半期包括利益	80,049	7,186
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	80,974	△5,849
少数株主に係る四半期包括利益	△924	13,036

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成25年10月1日 至 平成26年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	クラウド事業	ポイントエクス チェンジ事業 (注) 1	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,012,241	29,689	2,041,931	—	2,041,931
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,012,241	29,689	2,041,931	—	2,041,931
セグメント利益	386,262	15,774	402,036	△254,114	147,922

(注) 1. ポイントエクスチェンジ事業のセグメント利益の額の算定にあたっては、ポイント引当金戻入額を当該事業セグメントの費用に含めております。

2. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

4. 報告セグメントに対して特定の資産は配分しておりませんが、減価償却費等の関連費用は配分しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成26年10月1日 至 平成27年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	クラウド事業	ポイントエクス チェンジ事業 (注) 1	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,579,779	24,293	2,604,073	—	2,604,073
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,579,779	24,293	2,604,073	—	2,604,073
セグメント利益	451,467	20,952	472,419	△409,864	62,555

(注) 1. ポイントエクスチェンジ事業のセグメント利益の額の算定にあたっては、ポイント引当金戻入額を当該事業セグメントの費用に含めております。

2. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2 報告セグメントごとの資産に関する情報

(子会社の取得による資産の著しい増加)

第1四半期連結会計期間において、株式取得により株式会社マークアイを子会社化したため、同社を連結の範囲に含めております。これにより前連結会計年度の末日に比べ、「クラウド事業」のセグメント資産が732,921千円増加しております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「クラウド事業」において、株式会社マークアイの株式取得に伴い、第1四半期連結会計期間より、同社を連結の範囲に含めております。また、第2四半期連結会計期間にて当該子会社株式の追加取得を行っております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては、500,207千円であります。